

# Bilingual Japanese Folk Stories

Written by Natsuko Hama Illustrated by Yohei Yokoyama



## バイリンガル にほんむかしばなし

ぶん はま なつこ え 絵 : よこやま ようへい

English and Japanese  
えいご と にほんご

たげんごでんし えほんぶんこ  
多言語電子絵本文庫 2



## Contents

Urashima Taro	6
Kaguyahime	22
Straw Hat Jizo	38
Monkey and Crab	52
The Crane Bride	68
Old Man Hanasaka-Flower bloomer Granpa	82

### <Preface>

“My language is not necessary in Japan”- This was a statement by an internationally-married foreign mother living in Japan back in 2003. With the hope of passing down to children the language of their parents, we have been producing multilingual electronic picture books since 2009.

In 2015, another foreign mother said she wished she could read her child Japanese folktales. Since then, six Japanese folktales have been translated and transliterated into nine languages to create electronic picture books in the form of the Multi-Media Daisy Library, which has been released on the Internet. DVDs of the books were sent to the libraries in Japan in 2020 and 2021.

This paper book version was created following a request in January 2022 that the tales be published as a printed book. It is written bilingually with nine languages: Indonesian, English, South Korean, Spanish, Chinese, Nepalese, Filipino, Vietnamese and Portuguese. The sounds of these languages can be accessed from the homepage of the RAINBOW. Please note that the Chinese, South Korean and Portuguese versions have been retranslated this time, and thus have been partly revised from the versions in the Multi-Media Daisy Library.

<はじめに>

2003年、国際結婚をしている外国人のお母さんが、「日本では私のことばは必要がない」と言うのを聞きました。両親のことばが子どもに引き継がれるように願って、2009年から多言語電子絵本を制作してきています。

2015年、日本の昔話を子どもに読んでやりたいというお母さんの声がありました。6つのお話を9言語に翻訳し、音訳して、マルチメディア形式の電子絵本をつくり、インターネットで公開しています。

2020年、21年、同じものをDVDに入れて、全国の図書館に贈りました。

2022年1月、印刷された本で読みたいという要望が寄せられ、本誌をつくることにしました。二言語（バイリンガル）表記で、インドネシア語、英語、韓国語、スペイン語、中国語、ネパール語、フィリピン語、ベトナム語、ポルトガル語の9種類あります。音声はRAINBOWのサイトから聴いてください。なお、本誌作成にあたり、中国語、韓国語、ポルトガル語は翻訳をし直したので、デジ再生の音声と一部、異なります。



## <Multi-Media Daisy Library>

This is an electronic book that supports reading for those who are not able to read printed letters smoothly. The letters on the screen are highlighted in yellow along with the sounds to show readers exactly what part is being read. The size of the letters and the speed can be changed according to each reader's needs.

The works of the RAINBOW are read as Chatty Books that are easily accessible via PC, tablet, or smartphone.

April 2022



## <マルチメディアデイジー図書について>

印刷された文字をすらすら読めない人の読書を助けてくれる電子図書です。画面上の文字は、音声とともに黄色くハイライトしていくので、どこを読んでいるかわかります。文字の大きさや速さも読む人に合わせて、変えることができます。

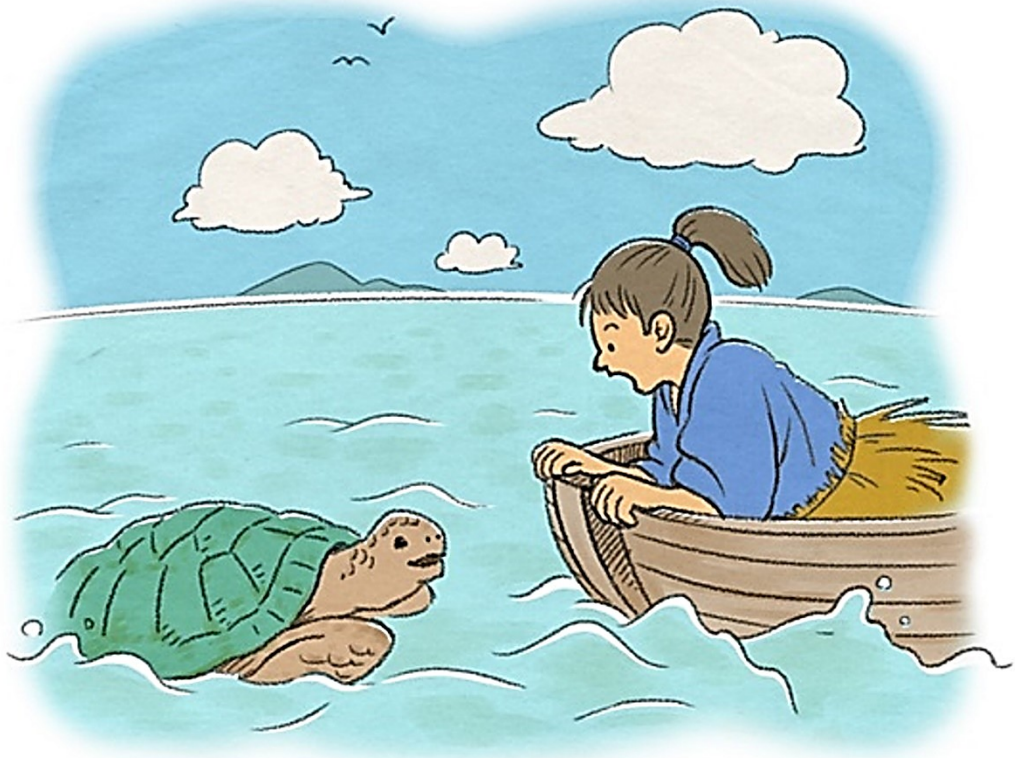
RAINBOWの作品はパソコン、タブレット、スマートフォンで、すぐに再生するChattyBooks（チャッティブックス）になっています。

2022年4月



多言語絵本の会RAINBOW

<https://www.rainbow-ehon.com>



# Urashima Taro

Written by Natsuko Hama

Illustrated by Yohei Yokoyama

## うらしまたろう

ぶん はま なつこ  
文：浜 なつ子

え よこやま ようへい  
絵：よこやま ようへい

Urashima Taro	Indonesian	インドネシアご
Urashima Taro	English	えいご
우라시마 타로	Korean	かんこくご
Urashima Taro, El pescador Taro Urashima	Spanish	スペインご
浦島太郎	Chinese	ちゅうごくご
うらしまたろう	Japanese	にほんご
उरासिमा तारो	Nepali	ネパールご
Urashima Taro	Filipino	フィリピンご
Urashima Tarou	Vietnamese	ベトナムご
Urashima Tarou	Portuguese	ポルトガルご



1) A long time ago, there was a fisherman named Urashima Taro who fished by the sea every day.

However, one day he could not catch any fish.

“Why can’t I catch any fish?”

As he uttered those words, he felt a tug on his fishing line.

“Huh?”

1) むかし、むかしの ことです。

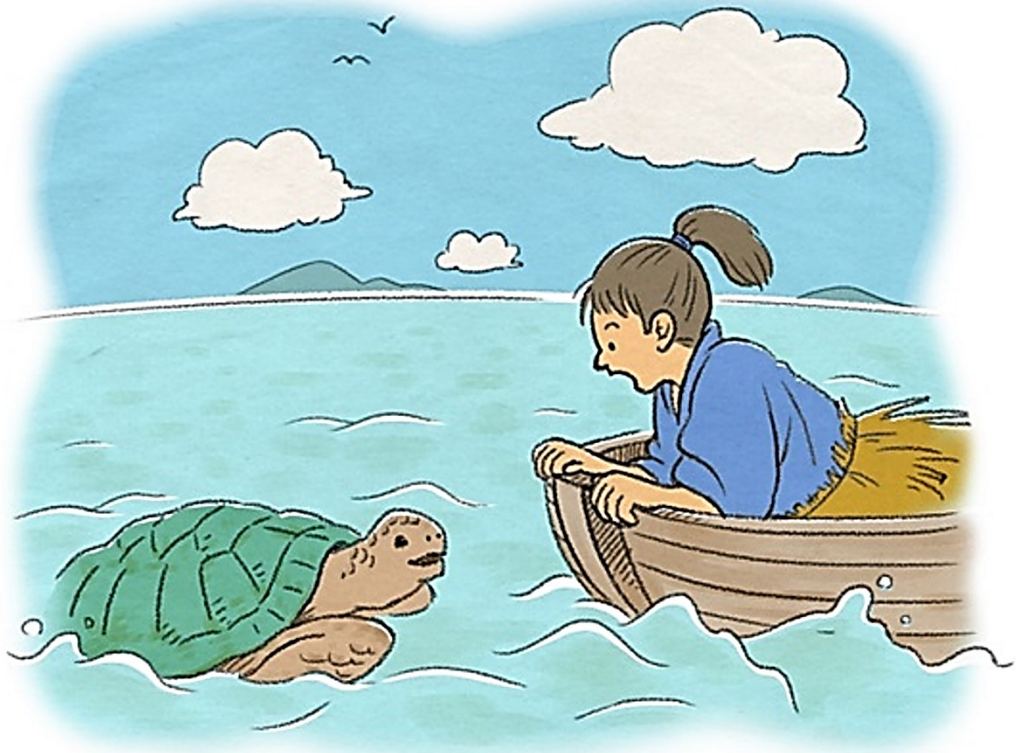
うらしまたろう と いう りょうしが いました。

まいにち、うみで さかなを つります。

ところが、その ひは いつまで たっても つれません。

「ああ、どうして つれないんだろう」

うらしまたろうが つぶやくと、あれっ？ なにかが つれまし  
た。



2) Using all his strength, he pulled a big turtle out of the sea. Urashima Taro decided to let it go.

“Dear Mr. Turtle. Please go back to the sea and live a happy life.”

The day, he could not catch any fish. Suddenly, there was a voice saying,

“Urashima-san, Urashima-san.”

It was that big turtle.

“I am a messenger from the princess of the Dragon Palace.

I will take you there. Please, climb on my shell.”

2) ちからいっぱい、ひきあげると、それは おおきな かめ  
でした。

うらしまたろうは かめを にがして やる ことに しまし  
た。

「かめさんよ。うみに もどって しあわせに くらすんだ  
よ」

その ひ、さかなは いっぴきも つれません でした。

すると、「うらしまさん、うらしまさん」と いう こえが  
しました。

あの おおきな かめでした。

「わたしは りゅうぐうの おとひめさまの つかいです。  
あなたを りゅうぐうへ つれて いって あげましょう。  
さあ、わたしに のって ください」





3) As Urashima Taro rode on the turtle's back, it dove deeper and deeper into the sea. Finally, they could see the shining Dragon Palace twinkling ahead.

There were many dancing fish.

“Look, the sea bream and flatfish are all happy to welcome you.”

The turtle then took Urashima Taro into the Dragon Palace.



3) うらしまたろうが かめの せなかに のると、かめは  
ずんずん うみの なかに もぐって いました。

やがて、きらきら ひかる りゅうぐうが みえて しまし  
た。

たくさんの さかなたちが おどって います。

「ほら、たいも ひらめも あなたを むかえて よろこんで  
います」

かめは うらしまたろうを りゅうぐうの なかに つれて  
いきました。



4) Urashima Taro was welcomed by a princess, the prettiest princess he had ever seen.

“Sir Urashima Taro. Thank you very much for helping the turtle. Please make yourself at home.”

Urashima Taro spent many happy days with the princess.

4) みた ことも ない かわいらしい おとひめさまが  
うらしまたろうを むかえて くれました。

「うらしまたろうさま、かめを たすけて くれて ありがと  
う ございます。ここが あなたの うちだと おもって  
くださいね」

うらしまたろうは おとひめさまと まいにち、 たのしく  
くらししました。



5) Soon three years passed. One day, Urashima Taro suddenly remembered his mother. He suddenly wished to return home.

The princess brought him a beautiful box.

“This is a treasure box.”

“A treasure box?”

“Yes. Please do not open this box if you want to return here.”

5) そうして さんねんが すぎた ある ひの ことです。

うらしまたろうは、ふっと おかあさんの ことを おもいだ  
しました。

すると、すぐにでも いえに かえりたく になりました。

おとひめさまは きれいな はこを もって きて いいまし  
た。

「これは、たまてばこ です」

「たまてばこ？」

「はい、あなたさまが ここへ また もどって きたいと  
おもうのなら、けっして この はこを あけては いけませ  
ん」



6) Riding on the turtle's back, Urashima Taro returned home and was shocked. His house was gone.

Just then, an old woman passed him by.

“Where is the house of Urashima Taro?”

Urashima Taro asked her.

The old woman thought for a moment, and said,

“I heard a story about Urashima Taro, who never returned from the sea. But, it was three hundred years ago.”

“What? Three hundred years ago?”

Urashima Taro was so astonished that he did not know what to do.

6) かめの せなかに のって かえって きた

うらしまたろうは びっくりして しまいました。

うらしまたろうの いえが なくなって いたのです。

ちょうど やって きた おばあさんに、「うらしまたろうの  
いえは どこですか？」 と ききました。

おばあさんは かんがえてから いいました。

「おかし うらしまたろうと いう ひとが、うみから かえ  
って こなかったと いう はなしを きいた ことが あり  
ます。でも、さんびやくねんも おかしの はなしですよ」

「ええっ！ さんびやくねん？」

うらしまたろうは おどろいて、 どうして いいのか わから  
なく なりました。



7) “Well, here is the box, that’s right. I have the box.”

Urashimataro gently opened the treasure box. As he did so, a cloud of white smoke poured out of the box.

Urashimataro became an old man with his hair and eyebrows all in white.

Translated by Yoshiko Takebe

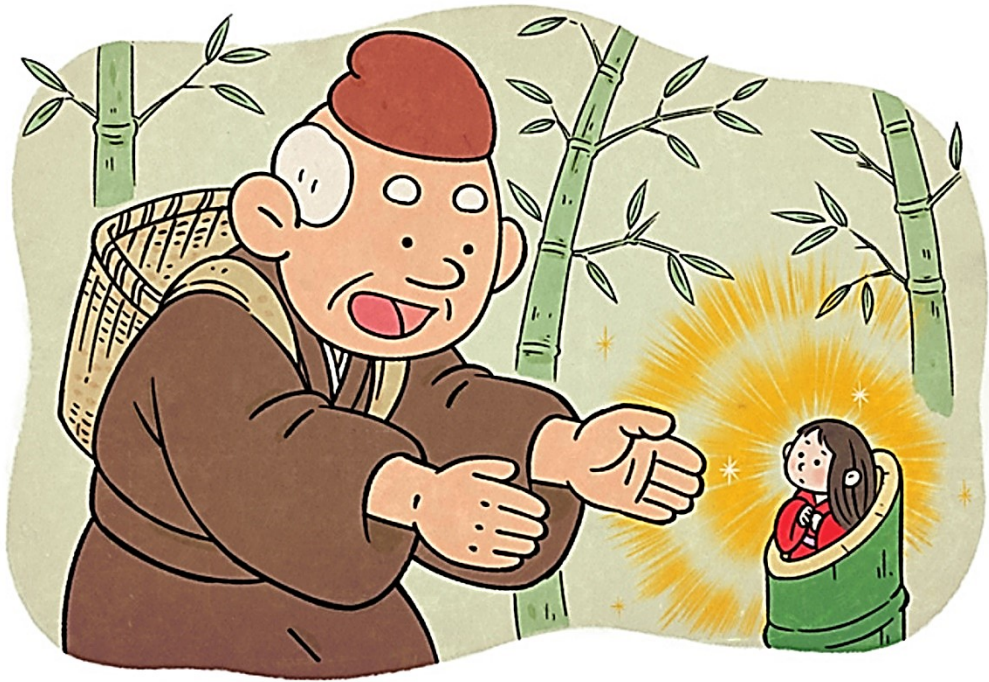


7) 「そうだ、この はこが ある」

うらしまたろうは たまてばこを そっと あけました。

すると、なかから しろい くもが もくもくと でて きま  
した。

うらしまたろうは かみのけも まゆも まっしろな おじい  
さんに なって しまいました。



# Kaguyahime

Written by Natsuko Hama

Illustrated by Yohei Yokoyama

## かぐやひめ

ぶん はま なつ子

え 絵 : よこやま ようへい

Putri Kaguya	Indonesian	インドネシアご
Kaguyahime	English	えいご
카구야 공주	Korean	かんこくご
La princesa de bambú	Spanish	スペインご
月亮公主	Chinese	ちゅうごくご
かぐやひめ	Japanese	にほんご
बाँसको राजकुमारी	Nepali	ネパールご
Kaguyahime, prinsesa ng kawayan	Filipino	フィリピンご
Nàng công chúa trong ống tre	Vietnamese	ベトナムご
Princesa Kaguya	Portuguese	ポルトガルご



1) A long time ago.

An old man went to a mountain to harvest bamboo.

“Why, one of the bamboo stalks is shining!

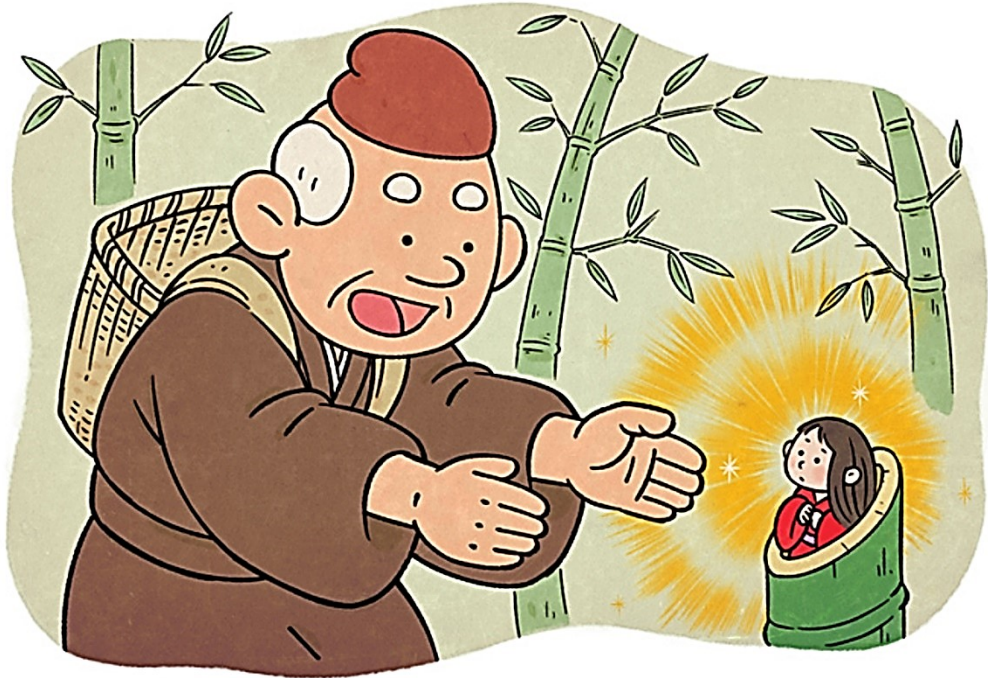
Let’s cut it open! Oof!”

1) おかし、おかしの ことです。

おじいさんが、やまへ たけを とりに いきました。

「おや、いっぽんだけ ひかって いる たけが あるぞ。

ちょっと きって みよう。どれ、どっころしよ」



2) “Oh my! There’s a little girl, inside the bamboo stalk!  
I will bring her home and raise her with my wife.”

The old man gently wrapped the little girl in the palm of his hand and took her home.

“Oh, what a tiny lovely girl! What name shall we give her?”

“Let’s name her Kaguyahime.”

2) 「おや おや、ちいさな おんなの こが いるぞ。

よしっ、わしと ばあさんで そだてて あげよう」

おじいさんは、その こを そっと てのひらに

つつんで、いえに かえりました。

「まあ、なんて ちいさくて かわいい おんなの こだ  
こと。おじいさん、なまえは どう しましょうか」

「かぐやひめに しょう」





3) Ever since Kaguyahime came to live with the old man and woman, strange things began to happen. Whenever the old man would cut open a stalk of bamboo, he would find money inside.

They soon became rich.

Day after day, Kaguyahime grew and grew.

Soon, a rumor of there being a beautiful princess called Kaguyahime spread across the country. Many men visited her one after another to propose to her. However, Kaguyahime refused them all.



3) かぐやひめが きてから、おじいさんの いえでは ふし  
ぎな ことが おこりました。

おじいさんが とった たけから、かならず おかねが でて  
きたのです。

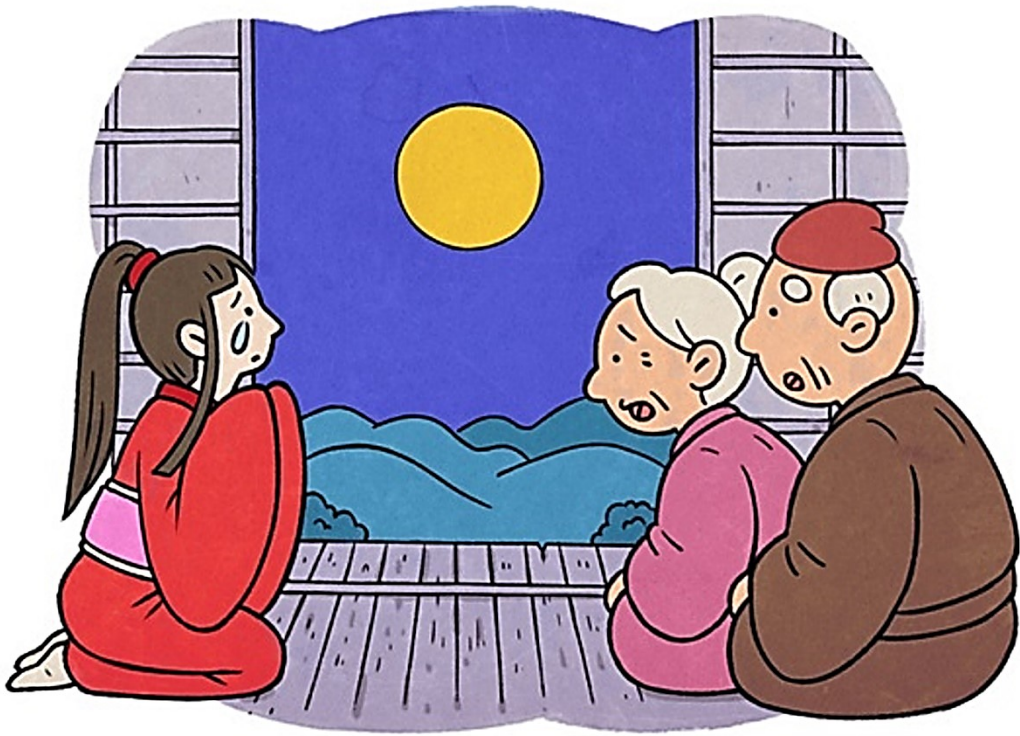
おじいさんたちは、たちまち おかねもちに なりました。

やがて、かぐやひめは、みるみる おおきく なりました。

うつくしい ひめが いる。かぐやひめの うわさは、くに  
じゅうに ひろまりました。

たくさんの ひとが けっこんを もうしこみに きました。

しかし、かぐやひめは みんな ことわって しまいました。



4) Soon, 3 years passed.

“Kaguyahime, why do you cry when you look up at the moon?”

“Our dear Kaguyahime, what makes you so sad?”

Finally, Kaguyahime spoke out.

“I am not a being from the human world. I come from the moon world. When the moon becomes full, I must return to where I came from.”

“Dear Kaguyahime, what on earth are you talking about?”

“I want to stay by your side longer. I asked the moon king to let me stay here longer, but he refused.”

Knowing that she would never be able to meet the old man and woman ever again, Kaguyahime became filled with sadness and began to cry.



4) さんねんが たった ころです。

「かぐやひめや、なぜ つきを みて なくのだい」

「わたしたちの たいせつな かぐやひめ、なにが かなしい  
のですか」

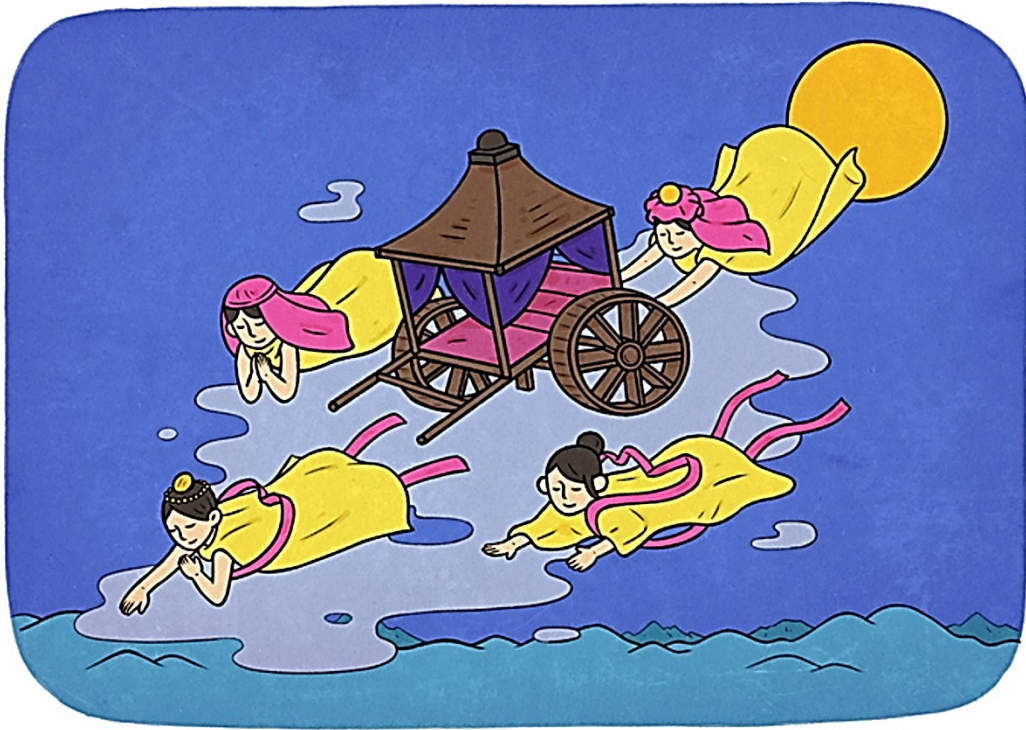
とうとう かぐやひめは いいました。

「わたしは にんげんの せかいの ひとでは ありません。  
つきの せかいの ひとです。まんげつの ひに つきに か  
えらないと いけないのです」

「かぐやひめや、いったい なにを いったい いるのだい」

「わたしも おじいさんと おばあさんの そばに もっと  
いたいのです。つきの おうさまに、もっと ここに いさせ  
てくださいと おねがい したのですが、ゆるされません  
でした」

かぐやひめは、おじいさんと おばあさんに、もう にどと  
あえなくなる ことが かなしくて ないて いたのです。



5) At last, the day of the full moon came.

Many warriors stood by Kaguyahime's house to protect her from the moon king.

When the clock struck midnight, lights began to flash around the house. Many people from the moon world arrived onto Earth riding clouds.

The warriors tried to shoot them down with arrows, but lost in vain.

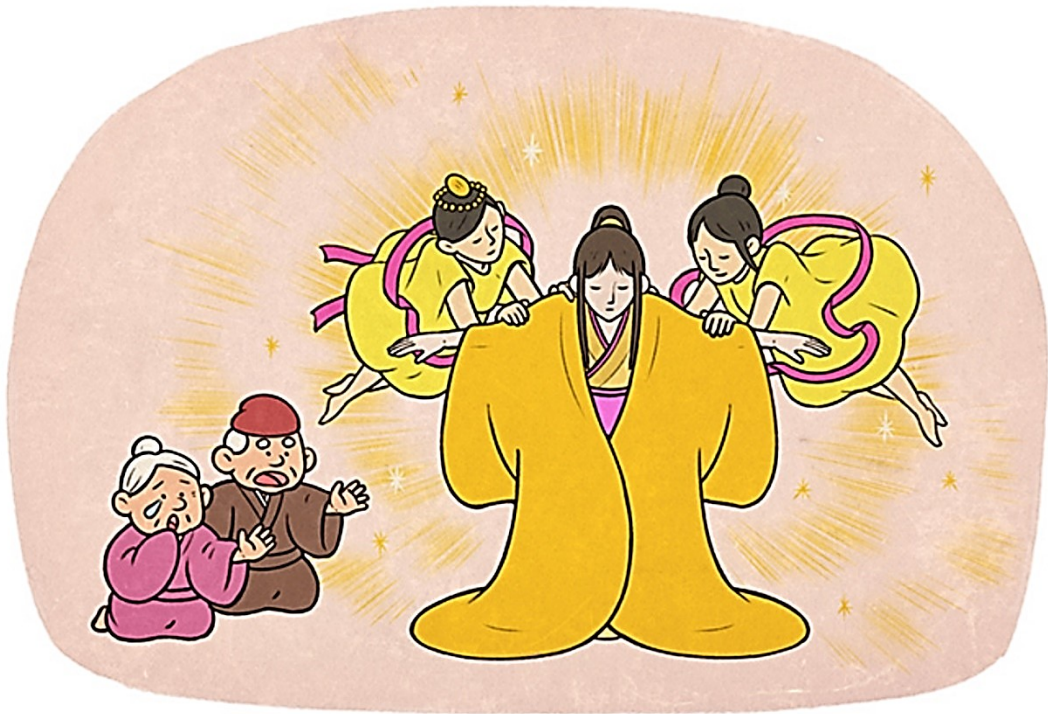
5) どうとう まんげつの ひに なりました。

かぐやひめの いえの まわりは、つきの おうさまから  
ひめを まもる ために、おおぜいの さむらいが まちかま  
えて います。

よるの じゅうにじ でした。いえの まわりが きゅうに  
かがやきました。つきの せかいの ひとが、なんにんも  
くもに のって おりて きたのです。

それに おけて さむらいたちは、ゆみを かまえるのです  
が、ちからが はいらずに うてません。





6) “Grandfather and grandmother, thank you very much for everything. I am sorry for not being able to take care of you as you become older.”

People from the moon world put a celestial robe of an angel on Kaguyahime. Then, all human feelings of joy and sorrow disappeared from inside Kaguyahime.

Kaguyahime once again became a person from the moon world. She flew high up into the sky, together with everyone else from the moon world.

Translated by Yoshiko Takebe



6) 「おじいさん、おばあさん、いままで ありがとう ござ  
いました。これから としを とって いく おふたりの お  
せわが できず、ごめんなさい」

つきの せかいの ひとが、あまの はごろもを かぐやひめ  
に きせました。

すると、かぐやひめの なかから、にんげんの よろこびや  
かなしみなどの きもちが きえて しまいました。

かぐやひめは、つきの せかいの ひとに もどったのです。

そして つきの せかいの ひとたちと いっしょに、そら  
たかく のぼって 行って しまいました。



# The Straw Hat Jizo

Written by Natsuko Hama

Illustrated by Yohei Yokoyama

## かさじぞう

ぶん はま なつこ  
文：浜 なつ子

え よこやま ようへい  
絵：よこやま ようへい

Jizou Bercaping	Indonesian	インドネシアご
The Straw Hat Jizo	English	えいご
삿갓 지장보살	Korean	かんこくご
Kasa Jizou, Los sombreros de Paja y las estatuas Jizou	Spanish	スペインご
斗笠地藏菩薩	Chinese	ちゅうごくご
かさじぞう	Japanese	にほんご
खासाजिर्जो (छात्रेढोपी ओडेको मूर्तिहरू)	Nepali	नेपाल्गो
Ang Mga Jizo at Salakot ni Lolo	Filipino	フィリピンご
Đội nón cho tượng địa tạng	Vietnamese	ベトナムご
Estátuas de Jizou	Portuguese	ポルトガルご



1) Long, long ago, there lived an old man and an old woman.

“Tomorrow is the New Year, but we do not even have any rice cakes in our home.”

“Yes...”

“Let us sell something! We will use the money to buy rice cakes!”

“Yes! Let us use this straw to weave some umbrella hats to sell!”

The old man and woman began to diligently weave together some straw hats.

They managed to complete five in total.

1) おかし、おかしの ことです。

ある ところに、おじいさんと おばあさんが すんで いました。

「あしたは おしょうがつ ですね。でも、うちには おもちも ありません」

「そうだなあ」

「なにかを うって、おもちを かいましょう」

「よし、この ほした くさで かさを つくって うりにいこう」

おじいさんと おばあさんは、せっせと かさを つくりました。かさは、いつつ できあがりしました。



2) The old man took the straw hats and went into the village.

“Straw hats! Would anyone like a straw hat?”

The man could not sell a single one.

“Good grief, it has begun to snow. I suppose I shall return home.”

The old man began to walk home. It began to snow harder and harder.

2) おじいさんは、かさを もって まちに やって きました。  
た。

「かさは いかがですか。かさは いりませんか」

でも、かさは ぜんぜん うれません でした。

「やれやれ、ゆきが ふって きて しまった。しかたがない、うちに かえろう」

おじいさんは、うちに おかって あるきだしました。

ゆきは だんだん はげしく ふって きました。





3) “Oh, there seems to be someone over there!”  
But as he got closer, he saw that they were only Jizo statues.  
Six Jizo statues were standing by the road.

“Mister Jizo, you must be cold under all this snow.  
Please! Wear this straw hat.”

The old man took the straw hats he could not sell, and put  
them on the Jizo statues’ heads.

“I have five straw hats. There are six Jizo statues, so I am  
missing one. Ah! Please use my own straw hat!”

3) 「あれ、あそこに だれか いるぞ」

ちかづいて みると、おじぞうさん でした。おじぞうさんが  
ろくにん みちに たって いたのです。

「おじぞうさん こんなに ゆきを かぶって、さむいでしょ  
う。そうだ、この かさを かぶって ください」

おじいさんは、うれなかった かさを、おじぞうさんに かぶ  
せて あげました。

「かさは つつ。おじぞうさんは ろくにん、ひとつ たり  
ないなあ。よし、わたしの かさを つかって ください」



4) The old man continued his journey home.

“Darling, the Jizo statues looked cold so I gave them my straw hats.”

“You did a very good thing. I am sure the Jizos are happy.”

4) おじいさんは、うちに もどりました。

「おばあさんや、おじぞうさんが さむそうだったから、わたしは かさを ぜんぶ おじぞうさんに あげて しまった」

「それは よい ことを しましたね。」

おじぞうさんも、きっと よろこんで いますよ」



5) That night, when the old man and woman were sleeping, they heard a song coming from somewhere far away.

“Where is the house of the old man, he gave us six straw hats?”

The singing stopped in front of the old man and woman’s house.

There was a rustle, and a loud boom.

5) その よるの ことです。

おじいさんと おばあさんが ねて いると、とおくから  
うたが きこえて きました。

「ろくにんの じぞうに すげがさ くれた じいさま おる  
か いえは どこかの」

うたごえは、おじいさんと おばあさんの うちの まえで  
ピタッと とまりました。

そして、がさがさ どーん と いう おおきな おとが  
しました。





6) “Dear, it’s unbelievable. There is a large amount of rice and fish in front of our house.”

“Oh my, I wonder what happened?”

The six Jizo statues had brought it over for them.

The old man and woman placed their hands together in front of the Jizo statues and showed their gratitude.

The old man and old lady lived happily ever after.

Translated by Stefanie Mei Sakuma



6) 「おばあさん、たいへんだ。うちの まえに おこめやおさかなが たくさん おいて ある」

「あらまあ、いったい どう した ことでしょう」

ろくにんの おじぞうさんが、はこんで きて くれたのです。

おじいさんと おばあさんは、おじぞうさんに てを あわせて、おれいを いいました。

おじいさんと おばあさんは、それからも ずっと なかよく くらしました。



# Monkey and Crab

Written by Natsuko Hama,

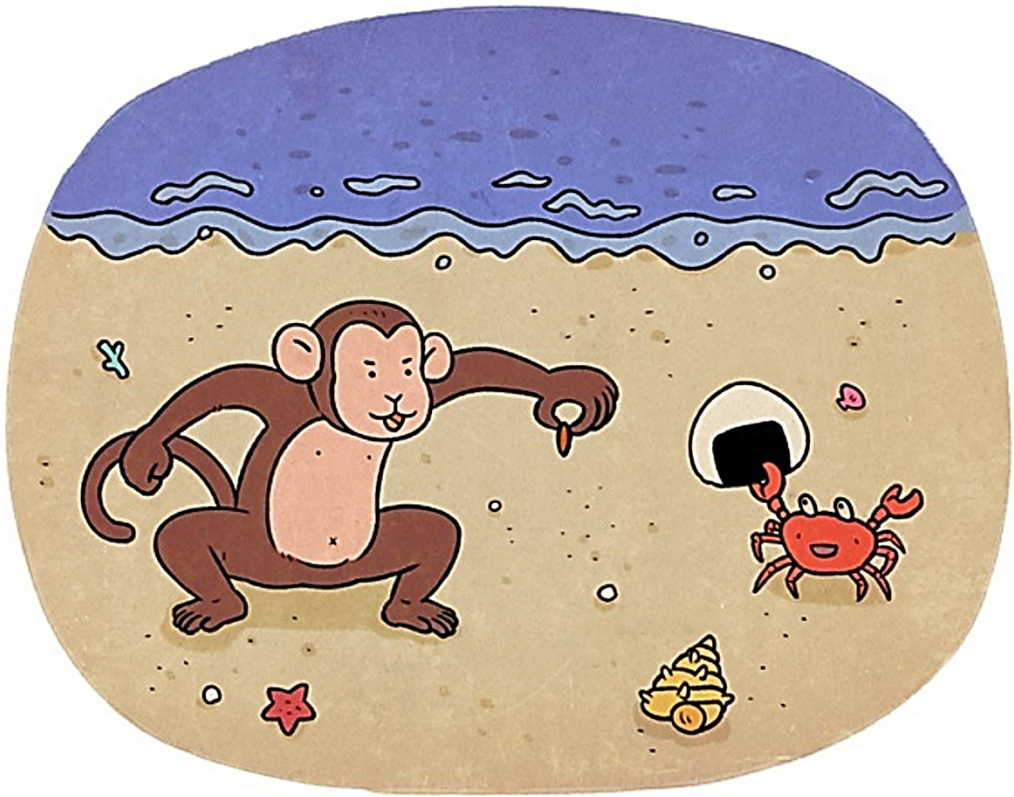
Illustrated by Yohei Yokoyama

## さるかに

ぶん はま なつこ  
文：浜 なつ子

え よこやま ようへい  
絵：よこやま ようへい

Kisah Monyet dan Kepiting	Indonesian	インドネシアご
Monkey and Crab	English	えいご
원숭이와 게	Korean	かんこくご
La batalla del mono y el cangrejo	Spanish	スペインご
猴子与螃蟹	Chinese	ちゅうごくご
さるかに	Japanese	にほんご
बाँदर र गँगटो	Nepali	ネパールご
Ang away ng alimango at ng unggoy	Filipino	フィリピンご
Khi và cua	Vietamese	ベトナムご
Sarukani	Portuguese	ポルトガルご



1) A long time ago.

A crab picked up a rice ball that looked delicious.

Along came a monkey.

“I picked up an even better thing.”

“A better thing?”

“A persimmon seed. If you plant it in the ground, it will grow persimmons. Say, how about exchanging it for your rice ball?”

“Sure.”

The crab exchanged his rice ball for the persimmon seed.

1) おかし、おかしの ことです。

かにが、おいしそうな おにぎりを ひろいました。

そこへ さるが やって きました。

「おれは、もっと いいもん ひろったぞ」

「もっと いいもんって？」

「かきの たねさ。じめんに うえれば みが なるぞ」

「どうだ、その おにぎり と とりかえっこ しねえか」

「うん。いいよ」

かには、おにぎり と かきの たねを とりかえました。



2) The persimmon seed began to sprout. It grew bigger and bigger and produced a lot of sweet persimmons.

The crab was delighted.

“Let me get and eat them.”

Just then the monkey came along.

“I will climb the tree and get one for you.”

“Yes, please.”

The monkey is good at climbing trees. He climbed the tree easily.

“Yummy. It’s sweet and soft.”

“Hey, Mr. Monkey. Please throw me one.”

“Nuts. This green hard one is for you! There it goes!”

Bang!

The crab was squashed and died. Then, many baby crabs appeared from the crab's shell.

2) かきの たねは めを だしました。

すくすく おおきく なって、あまい みを たくさん つけ  
ました。かには おおよろこびです。

「さあ、とって たべよう」

そこへ さるが やって きました。

「おれが きに のぼって とって やろう」

「そうして おくれ」

さるは きのぼりが とくいです。するするっと きに のぼ  
りました。

「ああ、うまい。あまくて やわらかくて うまいぞ」

「おおい、さるさん。わたしにも ひとつ なげて おくれ」

「ふん、おまえには この あおくて かたい かきだ！

それっ」

ぴしっ！ かには、ペしゃんこに なって しんで しまいま  
した。すると、かきの こうら から、こがにが たくさん  
でて きました。





3) The baby crabs headed for the monkey's house in revenge for their parent.

Then, "Where are you crabs all going?"

"Hello, Mr. Chestnut. We are going to seek revenge on the monkey."

"I will join you then."

They all went on.

"Where are you crabs all going?"

"Hello, Mr. Cow Pat. We are going to seek revenge on the monkey."

“I will join you then.”

They all went further.

“Where are you crabs all going?”

“Hello, Mr. Stone Mortar. We are going to seek revenge on the monkey.”

“I will join you then.”

Mr. Chestnut, Mr. Cow Pat, and Mr. Stone Mortar joined the baby crabs.



3) こがにたちは、おやがにの しかえしを するために  
さるの うちに おかいました。

すると、「かにさんたち、どこへ いくの」

「こんにちは いがぐりさん。ぼくたちは さるに しかえし  
に いくのさ」

「では、おいらも なかまに なりましょう」

しばらく すすむと、「かにさんたち、どこへ いくの」

「こんにちは うしの ふんさん。ぼくたちは さるに しか  
えしに いくのさ」

「では、わしも なかまに なりましょう」

さらに いくと、「かにさんたち、どこへ いくの」

「こんにちは いしうすさん。ぼくたちは さるに しかえし  
に いくのさ」

「では、おらも なかまに なりましょう」

いがぐりと、うしの ふんと、いしうすが、こがにたちの  
なかまに なりました。



4) They all reached the monkey's house. The monkey was not at home. They decided to wait for the monkey to return. Mr. Chestnut dived into the ash of the fireplace. The baby crabs hid in the water tub. Mr. Cow Pat sat heavily in front of the doorway. Mr. Stone Mortar went above the doorway. There was a noise. The monkey had returned home.

4) みんなは さるの うちに つきました。

さるは、でかけて いて るすでした。

みんなは さるの かえりを まつ ことに しました。

いがぐりは、いろりの はいの なかに もぐりこみました。

こがにたちは、みずの はいって いる おけに かくれまし

た。うしの ふんは、げんかんの てまえに べったりと

すわって います。いしうすは げんかんの うえに あがり

こみました。

ごとりと おとが して、さるが かえって きました。





5) “How cold it is! Let me quickly get warm at the fireplace.”

"Bang!"

Mr. Chestnut, who had been heated at the fireplace, jumped over the monkey’s bottom.

“How hot!! I must cool down my bottom.”

The monkey dived into the water of the tub.

"Splash!" "Snip-snap"

The baby crabs, who had been hiding inside the tub, started to snap the monkey’s body.



"Ouch!"

The monkey hurried to escape from the doorway.

"Slipping"

At that moment, the monkey stepped on Mr. Cow Pat, and fell plop.

"Go, Now!"

From above the doorway, Mr. Stone Mortar jumped down on the monkey. The monkey was hit and squashed flat by Mr. Stone Mortar.

Translated by Yoshiko Takebe



5) 「ああ、さむい、さむい。はやく いろりて、ひに あたろう」

「バチーン」

いろりの ひで あつく なって いた いがぐりが、さるのおしりに とびつきました。

「あちっ！！ はやく おしりを ひやさないと」

さるは みずの はいって いる おけに ザブン。

「ジョキ ジョキ ジョキ ジョキ」

その おけに かかれて いた こがにたちが、いっきに

さるの からだを きりだしました。

「いたたたたっ！」

さるは げんかん から そとに むかって スタコラ スタ  
コラ。

「つるーん」

その とたん、うしの ふんを ふんで スッテンコロリン。

「それ、いまだ！ えいっ」

げんかんの うえから、いしうすが さるの うえに とびお  
りました。

さるは いしうすに つぶされて、ペしゃんこに なって  
しまいました。



# The Crane Bride

Written by Natsuko Hama

Illustrated by Yohei Yokoyama

## つるのよめさま

ぶん はま  
文：浜 なつこ

え  
絵：よこやま ようへい

Istriku, Si Burung Bangau	Indonesian	インドネシアご
The Crane Bride	English	えいご
두루미 아내	Korean	かんこくご
Tsuru no yomesama o la novia-grulla	Spanish	スペインご
仙鶴妻子	Chinese	ちゅうごくご
つるのよめさま	Japanese	にほんご
चुरूनो, योमेसामा (बकुल्ला, दुलही)	Nepali	ネパールご
Ang Napangasawang Ibong Tagak	Filipino	フィリピンご
Nàng vợ tiên hạc	Vietnamese	ベトナムご
Tsuru no Yomesama - A noiva Grua	Portuguese	ポルトガルご



1) Long, long ago, there lived alone young man in a mountain village.

“Today I will go to the mountains again to cut down some trees.”

Flap flap flap!

Something white fell from the sky.

“Oh, it is a crane. You poor thing, there is an arrow stuck in you. Here, let me help you.”

The young man pulled the arrow out of the crane and washed it in the clean water of a river. As he did so, the crane recovered.

“Go, return to the sky.”

When the young man lifted the crane into the sky, the crane flew away with great momentum.

1) むかし むかしの ことです。

ある やまの むらに、わかものが ひとりですんで いました。

「さあ、きょうも やまへ きを きりに いくと するか」  
バサ バサ バサ

そらから しろい ものが おちて きました。

「おや、つる じゃないか。かわいそうに、やが ささって いるぞ。どれ、たすけて やろう」

わかものは つるの やを ぬいて、きれいな かわの みず で あらって あげました。

そうすると つるは げんきに なりました。

「ほうら、そらに かえるが いい」

わかものが つるを そらに むかって もちあげると、つる は、いきおいよく とんで いきました。



2) Several days after this, someone knocked on his door in the middle of the night.

“Who could it be on such a snowy night?”

The young man opened the door, and there stood a beautiful girl with white skin.

“Please take me as your bride.”

“What are you saying! There is no one that wants to be the bride of such a poor home.”

“That is not true. Please take me in!”

The young man felt like he was dreaming, but he let the girl in. The girl became the young man’s bride, and they lived happily together.



2) それから なんにちか たった ばん、トン トン  
トン とを たたく おとが しました。

「こんな ゆきの よるに、だれ だろう？」

わかものが とを あけると、いろの しろい きれいな  
おすめさんが たって いました。

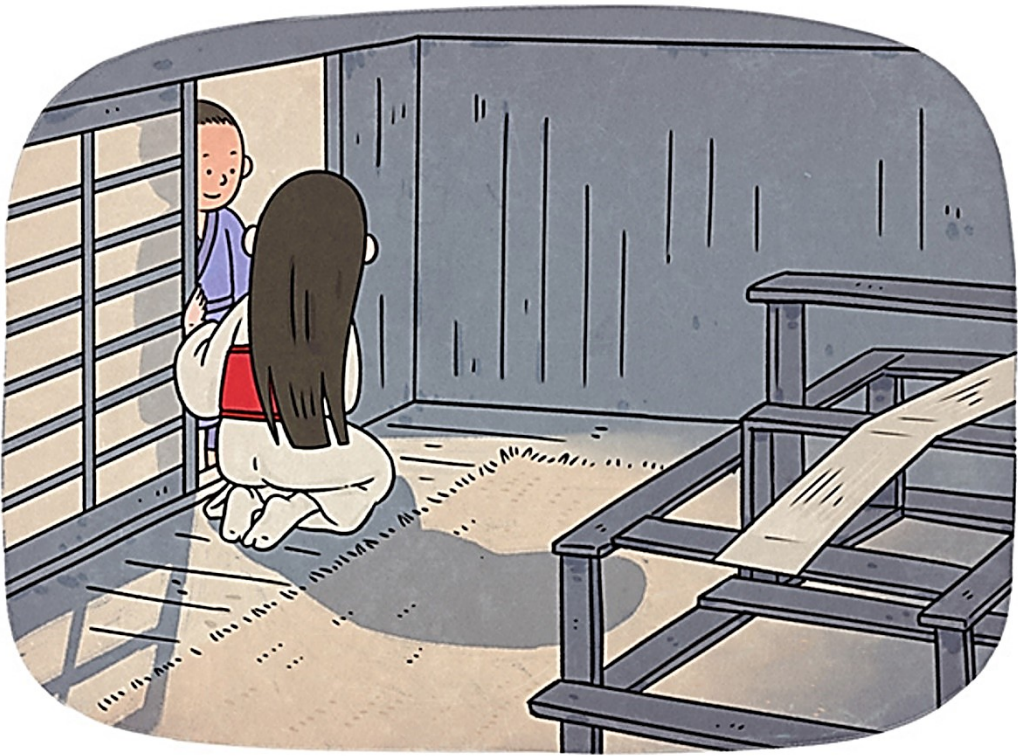
「わたしを おまえさまの よめさまに して ください」

「なにを いうんだ。こんな びんぼうな いえに よめの  
くる はずがねえ」

「びんぼう など なんでも ありません。どうか わたしを  
おいて やって ください」

わかものは ゆめを みて いるような きもちで、おすめさ  
んを いえの なかに いれて あげました。

おすめさんは わかものの よめさまに なり、しあわせに  
くらして いました。



3) The following happened one day.

“I will now weave cloth in the shack. Please do not look inside while I am weaving.”

“I understand. I promise. I will not look.”

Thump thump, Thump thump,

He could hear the sound of weaving.

Like this, three days passed.

“Here, this is the cloth that I have weaved.”

“You have grown very skinny. You must be tired! But what beautiful cloth! I will go to the town to sell this.”

3) ある ひの ことです。

「わたしは これから となりの こやで ぬのを おりま  
す。ぬのを おって いる あいだは ぜったいに なかを  
みないで くださいね」

「わかった。やくそくする。ぜったいに みない」

ぱったん ぱったん ぱったん ぱったん

ぬのを おる おとが きこえて きました。

そうして、みっかが すぎました。

「どうぞ、これが わたしの おった ぬのです」

「ああ おまえ。ずいぶんと やせて しまって。さぞ つか  
れただろう。でも、なんて きれいな ぬのなんだ。

よし、これを まちへ うりに いこう」



4) The cloth was so beautiful that dozens of people asked to buy it. Among them, there was one person who wore a very fine Kimono.

“I want to bring this cloth to His Majesty as a gift. Please weave one more for me. I will pay you as much money as you need.”

The young man happily went home.

“That cloth will become His Majesty’s kimono. He wants one more.”

“One more. I understand. Again, please do not look inside the shack while I am weaving.”

And thus, the bride went back into the shack.

4) あまりの うつくしさに たくさんの ひとが うって  
くれと いました。

その なかに、りっぱな きものを きた ひとが いまし  
た。

「これは、とのさまに さしあげたい ぬのだ。もう いちま  
い おって おくれ。おかねは いくらでも だす」

わかものは おおよろこびで いえに かえって きました。

「あの ぬのは、おとのさまの きものになる ことに  
なった。あと いちまい ほしい そうだ」

「もう いちまい ですか。わかりました。こんども こやの  
なかを ぜったいに みないで くださいね」

そうして よめさまは、こやの なかに はいって いきまし  
た。



5) However this time, the sound of her weaving was dull.

Thu...mp thu...mp, Thu...mp thu...mp

“I wonder what is happening. It is such a weak sound.”

The young man became worried. Unable to resist, he opened the door. What he saw was a lone crane who had been removing its own feathers to weave the cloth.

“Oh, it is you!”

5) ところが、ぬのを おる おとに げんきが ありませ  
ん。

ぱっ……たん ぱっ……たん

ぱっ……たん ぱっ……たん

「どうしたんだろう。よわよわしい おとだ」

わかものは しんぱいで、がまん できずに、とを あけて  
しまいました。

すると、そこには いちわの つるが いました。じぶんの  
はねを ぬいて ぬのを おって いたのです。

「あ、おまえは！」





6) “Yes. I am the crane that you saved. I have loved you from that moment. But, now that you have seen this appearance it is over. I cannot stay with you. Goodbye.”  
Saying this, the crane flew high into the sky.

Translated by Stephanie Mei Sakuma

6) 「はい。わたしは おまえさまに たすけて いただいた  
つるです。あの ときから、おまえさまを おしたい して  
いました。でも、この すがたを みられては もう おしま  
いです。おそばに いる ことは できません。さようなら」  
そう 言って、つるは そら たかく とんで 行って しま  
ったそうです。



# Old Man Hanasaka

## Flower bloomer Grandpa

Written by Natsuko Hama,

Illustrated by Yohei Yokoyama

はなさかじい

ぶん はま なつ子 こ  
文：浜

え  
絵：よこやま ようへい

Kakek Pembuat Pohon Berbunga	Indonesian	インドネシアご
Old Man Hanasaka -Flower bloomer Grandpa	English	えいご
꽃 피우는 할아버지	Korean	かんこくご
Hanasakajii o el abuelo que hizo floreecer el árbol	Spanish	スペインご
开花爷爷	Chinese	ちゅうごくご
はなさかじい	Japanese	にほんご
हानासाकाजिई (फूल फुलाउने हजुरबा)	Nepali	ネパールご
Ang Matapat na Lolong nagpasibol ng mga Bulaklak	Filipino	フィリピンご
Ông lão làm hoa nở	Vietnamese	ベトナムご
O velhinho que fazia florescer	Portuguese	ポルトガルご



1) Long long ago, there lived an honest old man and woman.

The couple had a pet dog called 'Shiro'.

They loved him as if he were their own flesh and blood.

1) おかし、おかしの ことです。

ある ところに、しょうじきもの の おじいさんと

おばあさんが いました。

ふたりには、しろ と いう なまえの いぬが いて、

こどもの ように、かわいがって いました。



2) One day, Shiro and the old man went to a mountain.

“Over here!” The dog barked.

“Dig over here!”

The old man began to dig, and found a pot full of gold in the earth.

The greedy old man who lived near the elderly couple saw this, and came to borrow Shiro. The honest old man could not refuse, and allowed him to take Shiro.



2) ある ひ、おじいさんと やまへ いった しろが、  
「ここ ほれ、わん わん。ここ ほれ、わん わん」と  
ほえました。おじいさんが ほって みると、おかねが たく  
さん でて きました。

それを みて いた となりに すむ よくばり じいさん  
が、しろを かりに やって きました。

しょうじきものの おじいさんは しろを かして あげまし  
た。



3) “Go on, bark!”

The greedy old man said to Shiro.

“Show me where the gold is!”

As they entered the field, Shiro began to bark.

“Ruff! Ruff!”

The greedy old man began to dig, but a bad smell soon wafted out of the hole.

Enraged, the greedy old man began to beat Shiro’s face. Shiro yelped, and soon passed away.

3) よくばり じいさんは しろに おかって、

「さあ、ほえろ。こばんは どこだ」

しろは はたけで、「わん わん」と ほえました。よくばり

じいさんが、ほって みると ぷーんと、くさい ものが で

て きました。

おこった よくばり じいさんは しろの あたまを たたき

ました。

「きゃん！」

ひとこえ ないで、しろは しんで しまいました。



4) The honest old man and woman planted a small tree at Shiro's grave. The tree grew larger and larger, and the elderly couple used the wood from the tree to make a mortar. When they used the mortar to pound rice cakes, they discovered that rice would appear out of thin air with every swing of the mallet.

4) しょうじきものの おじいさんと おばあさんは しろの  
おはかに ちいさな きを うえました。

きは みるみる おおきく なり、ふたりは その きで  
うすを つくりました。

その うすで おもちを つくと、つきから つぎへと  
おこめが でて きました。

だいどころは おこめで いっぱいに なりました。



5) Soon, the greedy old man came to borrow the mortar.

But when the greedy old man tried to pound some rice cake, snakes appeared out of nowhere with every attempt.

“Urgh! Disgusting!”

The greedy old man became furious, and set fire to the mortar.

5) すぐに となりの よくばり じいさんが うすを  
かりに やって きました。

よくばり じいさんが もちを つくと、へびが ぬるぬると  
でて くるでは ありませんか。

「うわっ、きもち わるいっ！」

よくばり じいさんは おこって うすを もやして  
しまいました。





6) “Shiro’s precious mortar has turned into ash!”

The honest old man said sadly. He gathered the ash and scattered it on Shiro’s grave.

But as he did so, flowers began to bloom out of now here!

Delighted, the old man climbed on top of a tree.

“Flower bloomer grandpa! Flower bloomer grandpa!”

he sang while scattering the ash.

“Let flowers bloom on bare trees!”

Dozens and dozens of peach and cherry blossom flowers began to bloom.

Just then, the king came upon the honest old man and his flowers.

“This is splendid!”

The king praised the honest old man.

6) 「だいじな しろの うすが はいに なって しまっ  
た」

しょうじきものの おじいさんは がっかり。

はいを あつめて、しろの おはかに まいて あげました。

すると、そこらじゅうに はなが さきました。おじいさんは

きに のぼって、「はなさかじい、はなさかじい。さあさ、かれ

きに はなを さかせましょう」と いいながら、はいを

まきました。さくらや ももの はなが いっぱい さきまし

た。

そこに、おとのさまが とおりかかりました。

「これは みごとだ」

おとのさまは しょうじきものの おじいさんに ごほうびを

あげました。



7) Seeing this, the greedy old man began to gather some ash. He scrambled up a tree, and said

“Flower bloomer grandpa! Flower bloomer grandpa!  
Let flowers bloom on bare trees!”

The king said to the greedy old man.

“The flower bloomer grandpa over there! Make flowers  
bloom on bare trees!”

“Yes your majesty! Here we go! Ha!”

But no flowers bloomed.

The greedy old man began to scatter more ash. Some of the  
ash flew into the king’s eyes and nose.

“You are a fake! Seize him!”

Finally, the greedy old man was thrown into prison.

Translated by Stephanie Mei Sakuma

7) これを みた よくばり じいさんは、はいを あつめました。すぐに きに のぼって、「はなさかじい、 はなさかじい。さあさ、かれきに はなを さかせましょう」と いました。

おとのさまは、よくばり じいさんに いました。

「そこの はなさかじい。かれきに はなを さかせて みよ」

「ははっ、かしこまりました。そうれ、ほーい、ほい」  
ところが ちっとも はなが さきません。

よくばり じいさんは どんどん はいを まきました。

その はいが、おとのさまの めや はなの なかに はいって しまいました。

「おまえは にせものだな。とっとと つかまえろ」

よくばり じいさんは とうとう ろうやに いれられて しまいました。

バイリンガル にほんむかしばなし

えいご にほんご  
英語と日本語

ぶん はま こ  
文：浜 なつ子

ねん ち ばけん う りっきょうだいがくがくいでんしゅうりょう さんけいしんぶん ふ じんめんとんどう きしゃ  
1955年千葉県生まれ。立教大学大学院修了。産経新聞婦人面担当記者

へ ちよしょ あさひやまどうぶつえん ものがたり かどかわ ぶん  
を経てフリーに。著書に『旭山動物園12の物語』（角川ソフィア文  
庫）『アジア的生活』（講談社文庫）などがある。

え  
絵：よこやま ようへい

おおさかげいじゅつだいがくそつ おも さくひん な がみ  
大阪芸術大学卒。主な作品に『ピワイチ!』『泣き神さまサワメ』『おた  
すけ妖怪ねこまんさ』（ともに文研出版）『夏のサイン』（角川学芸出  
版）『おばっちのブイサイン』（くもん出版）などがある。

ほんやく たけべよしこ さくま  
翻訳：武部好子、ステファニー・メイ・佐久間

ほん しせいさくきょうりよくしゃ じゅん ふ どう  
本誌制作協力者（順不同）

かつべさちこ よこたすみよ しのはらゆうみ  
ブッククラブえほんだな!、勝部幸子、横田住代、篠原優海、

なかたに あらきまさこ ひいろのりこ いしはひろこ  
中谷そのか、新木雅子、日色則子、石原弘子

たげんご えほん かい  
<多言語絵本の会RAINBOW>

もくてき  
【目的】

- ① 外国につながる子どもたちの母語、母国語の保持、育成
- ② 日本語で育つ子どもたちの外国語への興味、関心の拡大
- ③ 外国につながる人たちの社会参加の機会

ねが かつどう  
を願って活動しています。

かつどうないよう  
【活動内容】

たげんご がっこう としょかん  
多言語よみきかせ（学校や図書館などで）

たげんご でん し えほん せいさく  
多言語電子絵本の制作



(RAINBOW のホームページサイトで公開)

<http://www.rainbow-ehon.com>

じゅしょうれき  
【受賞歴】

ねん はくほうしょう  
2017年 博報賞

ねん ぶん か ちょうちょうかんひょうしょう  
2018年 文化庁長官表彰

ねん こうろうしょう こ か ていきよくちょうしょう  
2019年 厚労省子ども家庭局長賞

れんらくさき  
【連絡先】

nihongo\_crayons@yahoo.co.jp

RAINBOW かくげんご の各言語ページ

にほんご		えいご		ちゅうごくご	
かんこくご		ポルトガルご		スペインご	
インドネシアご		フィリピンご		ベトナムご	
ネパールご		タイご		ロシアご	
その他のアジアのことば		その他のヨーロッパのことば		アラビアご	
スワヒリご					

たげんごでんし えほんぶんこ  
多言語電子絵本文庫

1	バイリンガル にほんむかしばなし	インドネシア語と日本語 <small>ご にほんご</small>
2		英語と日本語 <small>えいご にほんご</small>
3		韓国語と日本語 <small>かんこくご にほんご</small>
4		スペイン語と日本語 <small>ご にほんご</small>
5		中国語と日本語 <small>ちゅうごくご にほんご</small>
6		ネパール語と日本語 <small>ご にほんご</small>
7		フィリピン語と日本語 <small>ご にほんご</small>
8		ベトナム語と日本語 <small>ご にほんご</small>
9		ポルトガル語と日本語 <small>ご にほんご</small>
10	ロシア民話 <small>みんわ</small> 金の魚のはなし <small>きん さかな</small>	日本語、ロシア語、英語、 中国語、ポルトガル語 <small>ご えいご</small>



